



War Cry

11月号

福音版
2023
November
No.2860

二〇二三年 十一月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

GOOD NEWS と きの こ え

引き離される

ことのない愛

石川 一由紀



今年の大河ドラマ「どうする家康」は、幕府を開く前の家康の生涯にフォーカスをあてており、迷い、悩み、時には逃げ、失敗し、様々な弱さをもちながら人望を得ていく家康の一步一步が、時に真剣に、時にユーモラスに描かれています。人を導く立場の人も、本当はこのように人間臭い人なのだと思ひ、なんとなくほっとするのです。特に、民衆の中に入っていく、気さくに話をしながら、民の暮らしを見つめるシーンは印象的です。歴史の教科書に出てくる徳川家康の絵からは想像もつきません。

ここで皆様に、迷い、悩み、時には逃げ、失敗し、様々な弱さをもつ人が、次々と登場する書物を紹介したいと思います。そこにはまた、民衆の暮らしの中に入り、気さくに話しながら、民の悲しみを自分の悲しみとして痛み、そこに一筋の光をもたらそうとする人物が登場します。この書物は、世界のベストセラーと呼ばれる『聖書』です。そして、光をもたらす人物、その名はイエス。イエス・キリストの物語です。

扱おうとしてみてください。彼らは人間味あふれる十二人の弟子たちと行動を共にし、いつも民衆の中にいました。弟子たちが失敗しても最後まで彼らを赦し続けます。過去の異性関係から人目をばかると向き合っても、きちんと向き合い、清算できない過去を抱えたまま、そのままの女性を受け入れ赦していきます。

イエス・キリストは、神の独り子であって、私たち人間を神の作品として大切に

の内容は、聖書の書かれた約二千年前とは違うかもしれませんが、SNS上でのトラブル、ストーカー、DV、虐待やネグレクト、将来の見えない不安、急激な少子高齢化に伴う人材不足、社会問題など枚挙にいとまがありません。二十一世紀を生きる私たちの苦しみ、悩み、やり場のない怒りなどにも、イエス様は向き合ってくださいませんか。

現代における悩み苦しみを

(救世軍士官(伝道者))

かけがえのない お一人おひとりと出会って

特別養護老人ホーム「恵みの家」での日々



細貝 順子 さん (救世軍渋谷小隊所属)



恵みの家のエントランス

プロフィール 救世軍士官(伝道者)の両親のもと、大阪に生まれる。東京都福祉局児童養護施設で4年間勤務。東京都港区児童課 障害児通園施設「のぞみの家」で26年間勤務。その後、障がいをもった子どもたちとお母さんを地域の保育園で受け入れたいと、港区保育園へ。港区内のいくつかの保育園で働き、園長を務める。2009年から救世軍の特別養護老人ホーム「恵泉ホーム」(東京・清瀬市) 施設長。続いて、「恵みの家」(東京・杉並区)で、2013年の開所時より2023年春まで施設長を務めた。

「恵みの家」での十年間、ご入居者、ご家族を通してたくさんの方と出会って、ただきましました。そのたびに自分の中でいつも繰り返していたのは、旧約聖書ゼカリヤ書一四章七節の「夕暮れ時にも、なお光がある」というあの美しい聖句です。

「こういうの、好きだよ」

忘れられないことがあります。それは礼拝を通して教えられたことです。「恵みの家」が開かれて礼拝が始まって間もなくの頃、初めて礼拝に参加されたTさんは、周りに関係なく、自分の中だけで独り言を繰り返しておられました。コミュニケーションをとるのが難しい、そのTさんが、礼拝の最後の賛美歌「いつくしみ深き」の歌が始まると、急に口をつぐんで、手で目元をぬぐっていらしたんです。何か彼女が奥深くに触れたのだと胸を打たれました。以来、礼拝のその時間にはTさんと気持ちの重なりを感じて、私も参加できる時はTさんの横に座っていました。

人生の「夕暮れ」ともいえる時期にある方々と共にいて、教えられたことを自分だけのものにするのはもったいなくて、毎月の職員向けの予定表に小さな文章を書いてきました。その中からいくつかを皆様にお伝えしたいと思います。

貼ってある歌詞を追いながら、時に声を出して歌っておられました。そして歌い終わると、じつと私のほうを見つめられたんです。何を言いたいのかなと思っていると、何か話す言葉を探しておられるようで、そしてゆっくり、「こういうの、好きだよ」と言われたんです。

まっすぐにこちらを見て、そのような言葉で気持ちを伝えられて、私は体が震えるような感動を覚えました。日常生活のほとんどを委ねなくてはならない、そして多くを削がれ、失っているように見えても、氷山が深い海の中でその何百倍もの隠れた部分に支えられているように、見えない思い、悲しみ、あるいは喜びがあることを思われ、人の魂の奥深さに本当に謙虚でありたいと願いました。

同時に、神様はすごい方だと思いました。私たちの小さな働きを神様が用いてくださる。そして大切な記憶を掘り起こし、Tさんの深いところから言葉を引き出してくださり、今を豊かにしてください。高年齢者に向かう時、私たちには見えていない深い領域があることを覚え、常にそのことに謙虚に向かいたい、「恵みの家」の働

ご入居者、ご家族、職員でつくっていくホーム

十年前、「恵みの家」の開所準備で最初に職員が集まった時、「恵みの家」の理念の大事なことは、向き合っている利用者の中に、自分の大切な人を見つけて、その方にお任せするようにケアすることです」とお伝えしました。そして、各ユニットでこの理念を具体的にどのように実現していくかを話し合い、模造紙に書き出した時、どこのユニットも書いていたのが「優しい」とか「温かい」という言葉で

した。それは十年経った今、毎年受けている第三者評価の、ご家族や評価者の評価の中に必ず書かれている言葉です。職員一人ひとりの十年間の実践を見る思いがいたします。

「恵みの家」では、ご入居者にもご家族にも、施設に入ってから、今までの生活を大事にしていきたいというのを申し上げています。あるご家族からのお手紙には、「恵みの家」に入居する時、自宅で使っていた食

社会福祉法人救世軍社会事業団
救世軍 恵みの家

東京都杉並区和田 1-41-11
TEL 03-3381-7243
https://meguminoie.salvationarmy.or.jp/

ユニット型の特別養護老人ホーム。1ユニットに10人のご入居者で生活し、8つのユニットでできています。〔運営方針〕

- ・「施設に入る」のではなく、「ホームを住まいに」。
- ・お一人ひとりの“今の力”を存分に生かせる毎日を。
- ・「今日生きている、今生きている」手ごたえ、実感を感じられるところとします。
- ・ご入居者の皆さん、ご家族、そして職員一緒にホームを作り上げていきます。



*1 リビングバイブル訳 (1978年版)

器を持参するように言われ、家と同じお茶碗で食べられるんだ、と思いました。施設では本当に家のように温かく見守り優しく接してくださるスタッフの方ばかりで、義父も楽しく過ごせたと「思います」とありまし

看取りケアのこと

中には、ご家族を施設に預けた後に、罪悪感や寂しさを覚え苦しまれる方もあります。最近も家族のメンタルケアの大切なケアに、「看取り」があります。看取りケアは、二年半の準備期間を経て始まりました。職員たちは、いわゆるスキル的な技術とともに、怖さや不安、メンタル面についても学びやディスカッションを通して準備をしていきました。今では本場に自然に、職員はそれをしていきます。先日も、ご入居者が亡くなられた時、その方が好きだった色のお花で小さな花束を用意して、枕元に置いていました。始まる時、「とても怖い」と尻込みしていた職員です。彼女は「今でも怖いと思う時があります、でも、そういうふうには体が動きません」と言っていました。

タルケアについて問われたことがありました。私はその時、「恵みの家」の運営方針の四つ目「入居者様とご家族、そして職員によってホームを作ります」ということの大切さを思いました。ご入居者を施設のほうで取り上げるのではなく、この先も一緒に、その方の生活をつくっていきましょう、ということの重要性を、深く教えていただいたのです。

「長寿はいいねー」
入居しておられるご本人にとつて、この場所での生活はどのようなものなんだろう、と思うことがあります。エントランスに「長寿」という作品が飾ってあって、ある時、一人のご入居者が、それを車いすから見上げながら言われました。「いいねー、長寿はいい言葉だ、いいですよー。」繰り返し歌うようにおっしゃってくださいました。長寿を喜び、家族

愛するということ

「恵みの家」の玄関に、「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである」というイエス・キリストの言葉（マタイによる福音書25章40節）のプレートが貼ってあります。何年前か前、研修に参加した職員のレポートに、「救世軍の研修では愛という言葉を中心に、自分でも使えない言葉をすな



（二〇二三年六月 救世軍の女性集会での講演より）

おに言葉にして、そして実践しよう」と丸になる。素敵だと改めて思った」という感想がありました。神谷美恵子さんはその著書の中で、「愛するとは互いにかげがえのないものとして、相手をいつくしみ、相手の望むように大切にすることで」と記しています。その愛を実践しようとする職員

「でも、どれほど高く深い思いがあっても、日々の厳しさにつづれそうになつてできなくなることもある。」それも職員の正直な言葉です。それでもなお、だからこそ、私たちの働きはこの「愛する」ことを抜きにしては進めないと示されます。それは私たちの現実を超えさせる力があると。職員の実践している小

* 2 死の瞬間を深く研究した米国の精神科医

* 3 瀬戸内海にあるハンセン病の施設「長島愛生園」で長く働いた精神科医

創立者 ウィリアム・ブース 大將 リンドン・バッキンガム (万国本営 英国ロンドン)



世界をみつめて

〈ルーマニア〉新学期を迎える子どもたちへの支援

8月末から9月初め、新学期が始まるのを前に、ルーマニアの救世軍では貧困家庭の子どもたちに学用品の入ったバックパックの配布をおこないました。受け取った一人の女の子は、学校に行くために必要な物が何もなかったが、お祈りが聞かれて品物が届いた、と、とても喜んでいました。

ルーマニアの救世軍では子どもたちの教育支援に力を入れています。その対象は、貧困ライン以下の家庭で育ち、学校を続けられなくなる危険性の高い子どもたちです。ブカレスト、クラヨーヴァ、バカウなど6都市に住む、貧困



と社会的排除の危険にさらされている5～15歳の子どもたち、16～18歳の若者たち240人(うち35%は差別されたロマ・コミュニティや人身取引の危険にさらされている家庭の子どもたち)に対して、温かい食事、学用品や衣服の提供、健康教育、さらに、保護者に対する社会支援サービスを提供することにより、退学を防ぎ、教育を受けられるように活動を進めています。

〈南アフリカ〉ビル火災被災者への支援

ヨハネスブルグ市中心部で8月31日未明、5階建てビルの火災が発生し、12人の子どもを含む74人の死亡が確認され、負傷者も多く出ました。近隣の救世軍の小隊(教会にあたる)から士官(伝道者)が現場に赴き、食料、水、衣類

などを届け、愛する人を失った人々と共に祈り、心のケアにあたりました。支援活動は他のNGO、教会、自治体と協力しておこなわれました。

火災のあったビルはかつてビジネス街だった場所にあり、経済苦にある人々の非公式な住居として使われており、住んでいたのはほとんどが他のアフリカ諸国からの移民だったということです。救世軍では、住む場所を失った人々へ今後も支援を続ける予定です。

〈ブルガリア〉ウクライナ難民支援

ブルガリアの救世軍ではウクライナ難民の人々への支援を続けています。9月16日には、プロヴディフの街に住む約85家庭に、子どもたちの入学シーズンに向けたクーポン券を提供しました。



日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)

救世軍とは? What is The Salvation Army?

心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置き、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で困難な生活状況にある人々に助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本では1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)たちが来日して、救世軍の働きが始まりました。日本人最初の救世軍士官となった山室軍平は、平易な言葉で聖書のメッセージを伝えるとともに、^{はいしやう}廃娼運動や結核療養所の設立をし、日本の医療、社会福祉分野での先駆者の一人にも数えられています。

現在、日本の救世軍には19の社会福祉施設があり、高齢者介護、婦人保護、児童養護、保育、アルコール依存症者回復支援の働きを担っています。救世軍社会福祉事業及び医療事業の理念は「キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを規範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする」であり、利用する方お一人おひとりの身体、心、魂が健やかに保たれることを願いつつ日々の働きを進めています。

11月30日は「社会鍋の日」

「社会鍋」は、救世軍がクリスマスシーズンにおこなっている、生活に困窮している人々を支援するための街頭募金運動です。三脚に吊りした鍋と紅白のたすきが目印で、俳句の季語にもなっている年末の風物詩です。2015年、一般社団法人日本記念日協会により、毎年12月に開始する募金活動をアナウンスする日として、11月30日が「社会鍋の日」と認定されました。

2022年、東京・上野で

救世軍公報 ときのごえ
 発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日
 定価 福音版/1部40円、広報版/1部100円
 (税込) クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円
 振替 00180-5-4400
 発行兼 救世軍
 印刷人 代表者 スティーブ・モーリス
 編集人 山谷 真
 発行所 救世軍本営 <https://www.salvationarmy.or.jp>
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
 電話 03-3237-0881(代表)
 Mail jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org
 印刷所 ピーアンドエス

@SArmyJP SArmy_JP 救世軍 The Salvation Army

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。

【取り扱い支部】

救世軍への連絡をご希望の方は、以下の項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)、もしくは、上記救世軍にご連絡ください。

- ・私の近くの救世軍を紹介してください。
- ・キリスト教についてもっと知りたいです。
- ・『ときのごえ』の購読を申し込みます。
- ・相談を希望します。